

ゴスペルコンサート

迫力の歌声で盛り上がる事間違いなし！

異文化に触れながら子どもから大人まで楽しめる、感動の“ゴスペルコンサート”

日本でも映画「天使にラブ・ソングを…」ですっかりお馴染みになった「ゴスペルソング」。その「天使にラブ・ソングを…」が、当時映画で主演をつとめた「ウーピー・ゴールドバーグ」のプロデュースで、2015年7月にブロードウェイ・ミュージカルとして日本に再上陸します！ゴスペルブーム再燃の今、圧倒的な歌唱力と楽しいステージングで日本のゴスペルグループの第一人者と言われる『COCORO*CO』（弊社所属）と、その愛弟子達20団体のクワイヤが参加するマスクワイヤ『Peaceful Harmony Gospel Choir』が日本中からの注目を集めています！『COCORO*CO』とクワイヤ達のコラボも必見です！！

COCORO*CO

1996年「VOICE OF JAPAN」出身メンバーにより結成。『こころと心が通じ合うステージ』をモットーにCOCORO*CO（心子）と命名。愛と平和のメッセージを込めて行われるハートフルなステージは評価も高く、鑑賞会でのゴスペルグループの第一人者。過去に訪問した学校は500校を超える。ゴスペルを軸に、ポップス・ワールドミュージック・唱歌まで幅広いレパートリーと観客を巻き込む、パワフルかつユーモア溢れるコンサートで各校で称賛されている。また、一度実施した学校から再演の依頼が多いのも内容の高さを物語っており、学校公演以外にも客船飛鳥Ⅱのワールドクルーズは5回を数える。2003年、NHK・BS放送に登場し、全国的に知名度を上げる。

結成10周年、11周年記念ライブを六本木スイートベイジルSTB139で開催。庄野真代のフィリピン・ストリートチルドレン救済アルバムに参加。障害者施設・老人施設でのコンサートにも力を注いでいる。子供劇場や親子劇場、市町村主催のコンサート、学校の芸術鑑賞会など、ほぼ日本全国でコンサートを行っている。

☆Peaceful Harmony Gospel Choir☆

☆Peaceful Harmony Gospel Choir☆は、弊社所属のゴスペルグループ「COCORO*CO」のメンバーの『宮原Panda裕子』と『HAL』が指導する関東各地20以上のchoir団体の有志による合同choirで、総勢250名以上のメンバーが参加している。2005年から、平和を願うコンサート「セプテンバーコンサート」やチャリティコンサートなどに出演し、各地で称賛を浴びている“ゴスペル・マスクワイヤ”である。ゴスペル音楽の持つ力が、大人から子供まで多様な年齢・職業のメンバーを結びつけている。参加メンバーの人数NO1のBBVは、2002年11月「第3回全国ゴスペルクワイヤフェスティバル」にてグランプリを受賞。翌2003年4月には宇都宮市民賞を受賞、また、2003年11月に東京ドームでの“消防庁55周年記念”イベントでは「つのだ☆ひろ」と共演、同じく11月に栃木県総合文化センターにて“NHK60周年宇都宮ジャズフェスティバル”で「渡辺貞夫」と共演、12月には「NYハーレムゴスペルクワイヤ」の宇都宮コンサートで前座を務めるなど、さまざまなアーティストとの共演も果たしている。

<主な参加団体>

BBV(ブラウンプレストヴォイス・宇都宮)、Shabach(杉並)、UHゴスペルクワイヤ(浦安)、ダイヤモンドリリース(新宿)、ゴスペルマクワイヤ(王子)、マザーグース(新宿)、Hope of Peace Gospel Choir(日立)、ゴスペルこころ(王子)、Joyful Gospel Company(練馬)、GPハレルヤ(練馬) 他 (参考URL <https://www.facebook.com/groups/336159453198310/>)

【ゴスペルのルーツと魅力について】

悲しい奴隷制度から現在に至る米国黒人の歴史から生まれた黒人音楽。人権もなく、過酷な労働を強いられ、苦しみ悲しみに打ちひしがれながらも、彼らは互いに励まし合い「がんばろう！」「きっと明日は幸せな日になる」と教会で力強く歌ったのでした。「今日生きていること」への感謝と喜び。仲間を思いやる優しい気持ち…ゴスペルにはそんな「魂」と「希望」と「愛」が込められています。ゴスペルの魅力は何と言っても皆と一緒に歌えるように歌詞が分かりやすく作られていること。すぐに一緒に口ずさむれる優しいフレーズで作られていることです。そこが参加型のワークショップも簡単に楽しめる理由です。「コール&レスポンス」(call&response)も特徴の一つで、出演者の「Good afternoon!」とか「OK?」などの様々なcallに、是非皆さんからのresponseで、会場も一体化した熱いパフォーマンスをお楽しみ頂けます！



演奏曲目例

Amazing grace / Joyful Joyful / Oh' happy day
This little light of mine / My life is in your hands
We've come to praise him /
The night that christ was born /
大きな古時計 / リパブリック権兵衛賛歌 /
漕げよマイケル / 笑う門には福来る
...etc



ゴスペルコンサート *Gospel Concert*

COCORO*CO メンバープロフィール



HAL

歌手を目指し、上京後、HAL OF MOON を結成。ライブ活動をスタートさせる。VOICE OF JAPAN 結成時の立ち上げメンバー。バックコーラスの実績は和田アキ子・西城秀樹・森公美子さん・ジョー山中・麻倉未稀・金子マリ・浦島りん等多数。グラミー賞受賞ゴスペル・グループSound of Blacknessのメンバー達より、スタンディング・オベーションで絶賛され、「あなたの声は神様からの祝福を受けている素晴らしい声だ。」と称される。女性4人のゴスペル・ソウルコーラスの「ピックリトル」やソロのライブやコンサートも行っている。2008年にはファーストアルバム「I SING BECAUSE」を製作。ボイストレーナーとしての実力も高い評価を受けており、個人のボイストレーニングの他、都内を中心に宇都宮・日立等、様々なカラーの団体（13+α）にゴスペルを指導している。NPO法人「国境なき楽団」のプロジェクトの一つである「海を渡る風（世界の子供達に楽器を贈るプロジェクト）」リーダー。

MOG

7歳で鎌倉市青少年少女合唱団に入団し、蓑田良子氏に師事。ラテン語のグレゴリオ曲、ポリフォニー歌曲等、数多くの宗教楽曲を学ぶ。イタリア、フランスへの演奏旅行では各地でのコンサートを初め、フィレンツェの『花の聖母寺』にて日本人初となるイースターのミサに聖歌隊として参加。23歳で退団した後は亀淵友香率いるVOICE OF JAPANに参加し、各地でのコンサートや、NHK紅白歌合戦・ときめき夢サウンド他数々のTVに出演。その後COCORO*COに参加し、全国各地でのコンサートや、客船飛鳥でのエンターテイメント乗船など幅広く活動を行っている。そのほか、数多くのアーティストのステージやレコーディングにもコーラスで参加し、2010年サマーソニックコンサートでは、STEVIE WONDERのステージにGOSPEL CHOIRの一員として参加。



PANDA

幼少の頃より坂本博士児童合唱団に所属し、芸術祭参加作品「黒い雨」「青い鳥」「小鳥になったライオン」他数多くのミュージカルやファミリーコンサートに出演。中学時代より、ニューミュージック・フュージョンを中心としたグループを結成し、ライブ・コンサート活動を開始する。現在は、個性派ゴスペルグループCOCORO*COの一員として活動の傍ら、実力派シンガー麻倉未稀のツアーにおいてはバックヴォーカルとしても活躍中。その他のソロ活動高崎ハム・帝人等のCMソングのレコーディングや、作詞も手掛ける。ジェームス小野田率いるウルトラパロックオーケストラの参加や、ネパールのインドラグルン、パンチャ・ラマのコンサート・レコーディングなど、ジャンルに縛られないヴォーカリストとしての活動も幅広く展開している。

AFRO

1981年 A.N.MUSIC SCHOOLにて亀淵友香に師事。在学中から「リッキー&960ポンド」にてデビュー、プロ活動を始める。リッキー氏亡き後、ソロシンガー、バンド活動にて全国のホテル・ライブハウス・クラブ・米軍基地等で歌う。コロムビアレコードからアニメーションソング、及び子供向け企画アルバムに携わる傍ら、CMソング等のレコーディングに参加。コーラスでのサポートとして師匠である亀淵友香をはじめ、高島忠夫ファミリーコンサート、マリーン、倅田來未、浅香唯、柳葉敏郎、宮前ユキ、中村祐介&R&Bオーケストラ、久保田利伸等、ライブ及びコンサートツアーに参加。2005年より女性ボーカルグループ「ピックリトル」にてHAL、宮原panda裕子と出逢い共に歌う。ココロコのソプラノにHELP参加する機会が増え、2013年からココロコへの正式加入となる。現在、レプレ新宿にてポピュラーボーカル科講師もしている。



《問い合わせ先》

(有)ミュージックアプリケーション 〒106-0032 東京都 港区六本木 5-16-5 インペリアル六本木 311 号
TEL : 03-5573-9977 FAX : 03-5573-9978 MAIL : info@music-ap.co.jp <http://music-ap.co.jp>